

「天城中学校の跡活用に向けたサウンディング型市場調査」

結果概要

令和7年3月31日をもって閉校する天城中学校の建物や敷地の跡活用について、当該施設の市場性や導入可能な民間施設、適切な事業手法などについて、民間事業者等の皆様との「対話」を通じて、アイデアや意見等を調査する「サウンディング型市場調査」を実施しました。その結果を取りまとめましたので概要を公表します。

なお、公表内容はサウンディング参加事業者のアイデア及びノウハウ保護のため、あらかじめ事業者の了承を得た内容のみ公表します。

1. 対象物件の概要

(1) 対象物件

天城中学校…所在地：伊豆市月ヶ瀬 855 番地、敷地：62,308 m²、建物：校舎 R C 造 3 階建 延床面積 4,494 m² (1972 年築)、体育館鉄骨造 1,428 m² (1973 年築) その他技術棟・格技場等

2. サウンディング調査の実施スケジュール

(1) サウンディング調査参加申込み

期 間：令和6年12月11日（水）～令和7年2月14日（金）

参加者：1 者

(2) 現地見学会

期 間：令和6年12月25日（水）～令和7年1月10日（金）

参加者：1 者

(3) 個別対話（意見交換）

期 間：令和6年12月11日（水）～令和7年2月18日（火）

参加者：1 者

3. サウンディングにおける対話事項

(1) 事業手法

(2) 事業内容（用途等）

(3) 活用施設

- (4) 事業実施による効果（周辺地域への効果、地元との連携など）
- (5) その他条件等

4. 対話によりいただいた意見・提案等

- (1) 事業手法
 - ・土地及び建物の購入
- (2) 事業内容（用途等）
 - ・林業関連事業
- (3) 活用施設
 - ・体育館、技術科棟、格技場の活用。校舎は解体し、更地にして土地を活用する。
 - ・グラウンドは木材保管場所として活用する。
- (4) 事業実施による効果（周辺地域への効果、地元との連携など）
 - ・伊豆市産の木材の活用や消費拡大、ブランド化、販路拡大
 - ・地元住民の雇用促進、木材の買取りによる山主の収益化
 - ・間伐などの森林整備を推進することによる豪雨被害等の災害防止
 - ・自治体との災害協定等による倒木処理などによる災害復旧への貢献
 - ・伊豆半島の木材を集約受け入れすることによる作業の効率化や輸送コスト削減、環境負荷の減少
 - ・地元住民や子どもたちを対象に工場見学や植林体験会を実施し、市産材への理解と愛着を醸成
- (5) その他条件等
 - ・当該施設の場所が山の上にあり、使用できる水量に限りがあるので、展開可能な業種が限られる。
 - ・校舎の活用予定は無いが、校舎を活用することができる事業者があれば、一緒に事業展開をしていきたい。

5 サウンディングを踏まえた今後の方針

今回のサウンディング結果を踏まえ、民間事業者の皆様の参入を促す公募条件を検討していくとともに、公募スケジュールや地域の皆様への理解を得られるような準備を進めてゆきます。